

小学校 第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成28年11月2日(水) 公開授業Ⅲ

学 級 小学校 2年

男子1名 女子3名 計4名

場 所 小学校 2年教室

指導者 玉山 厚

1 単元名 せつめいのしかたに 気をつけて読もう 「しかけカードの作り方」

2 単元設定について

本単元は、学習指導要領第1学年及び2学年の【C読むこと】「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】「イ(ウ) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くこと」の力をつけるために適した単元である。

児童はこれまでに、時間的順序や事柄の順序に着目して文章を読む学習を繰り返し行っている。本教材でも「手順」という順序に沿って読むことを学習する。本教材では手順の読解を行うが、このことは、この後の書くこと教材「おもちゃの作り方」で、児童一人一人が自分のおもちゃの作り方を書く活動につながる。「手順ごとに書かれた文章を読む」ことで理解したことを今度は書くことで確かめ、定着させることになる。

順序に着目して説明的文章を読むことは、時間的な順序で書かれた二年上巻「たんぼぼのちえ」や「どうぶつ園のじゅうい」などで経験してきている。本教材では、初めて「手順を読む」経験をすることになり、今後の説明的文章を読む学習につながっていく。また、説明文の内容をよりよく分かりやすく伝えるために、関係する写真と叙述を照応させながら読む学習も初めての経験である。

そこで、本単元では、「まず」「つぎに」「それから」「こんどは」「さいごに」といった順序を表す言葉の使われ方をしっかりと身に付け、実際に使ってみることをめあてとする。まず、掲示された〈作り方〉のまねをして使ってみること、そして、必要に応じて新たな言葉を補ったり、必要のない言葉を削ったりしながら、実際の文章に合わせて活用していく力を、次教材「おもちゃの作り方」とあわせて、児童一人一人に身に付けさせていきたい。

また、「しかけカードの作り方」は、開くと中にあるものが飛び出すというカードの作り方を、写真と文で、分かりやすく説明している教材である。児童が、興味をもつ題材を実際に作りながら、説明の仕方を確かめることができる。また、順序を表す言葉を使ったり、説明に対応する写真や実際の長さを示したりしているので、分かりやすさを実感できると思われる。文のまとまりや内容を考えながら読み、文章が写真のどの部分にあたるかを確かめたり、順序を表す言葉に着目して読んだりすることで、内容の大体を読み取る力を付けさせていきたい。また、説明書の形式の文章を学習するのは初めてなので、既習の説明的な文章にはなかった、見出しの書かれ方にも着目させることにより、説明書の特徴にも気付かせていきたい。

3 単元の目標と評価規準

◎順序を考えて文章を読み、説明のしかたについて考えることができる。

○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。

○全文を読み、分かりやすい説明のしかたをまとめることができる。

○語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くことができる。

【関心・意欲・態度】

・しかけカードの作り方に興味をもち、どのように書かれているかを整理しようとしている。

【読む能力】

・しかけカードの作り方の手順や説明する事柄の順序を考えながら、内容の大体を読んでいる。

【言語についての知識・理解・技能】

- ・順序を表す言葉や表現の意味を理解している。

4 単元の指導計画（6時間扱い 本時 2／6）

次	時	学習活動
第一 次	1	①「分かりやすいせつめいのしかたを見つけよう」という学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。
第二 次	2 本時	②説明されている文章はどのように書かれているか、組み立て方を調べる。 ③写真と文の内容を照応させて、作り方の順序を考える。
	3	④〈作り方〉を読みながら、しかけカードを作る。
第三 次	4	⑤教材文の〈作り方〉の部分で、どんな言葉や表現が説明を分かりやすくしているか考え、
	5	分かりやすい説明のしかたを理解する。
	6	⑥文章全体の組み立てを確かめ、分かりやすい説明のしかたをまとめる。 ⑦学習の振り返りをする。

5 本時の目標

「しかけカードの作り方」を読み、作り方の手順を確かめ、作り方の見通しをもつ。

6 本時の指導の構想

(1) 「見通しと振り返り」の位置づけ

見通し 作り方の順序を読み取るための活動を行うことを説明し、本時の学習の見通しをもつ。

振り返り 本時の活動を振り返り、作り方の順序を読み取る際に大切なことを確認する。

(2) 指導構想及び留意点

児童にとって、説明文で「手順を読む」経験は本教材が初めてである。また、内容をより分かりやすく伝えるために、写真と叙述を照応させながら読む学習も初めてである。

そこで、本時の展開にあたっては、順序を表す言葉の意味を捉えさせ、順序を表す言葉に着目させながら読み、作り方の手順をつかませていく。そして、段落ごとに切り分けて順不同にした「しかけカードの作り方」の文章を、「まず」「つぎに」「それから」などの言葉を手がかりにして、順番通りに並べ替えさせる。

また、段落ごとに写真と対比させ、説明に合う写真を見つける決め手となった言葉に目を向けながら読み、「しかけカードの作り方」の手順をつかませていく。そして、写真に合う文章を読み取らせ、そこを要点として捉えながら、全体の手順を大まかに捉えさせていく。

支援の手立てとしては、教科書の写真を拡大して掲示することにより、文章を読み取ることが苦手な児童も視覚的に意味を捉えられるようにする。文章だけでは分かりにくかった作り方がよく分かり、書かれた内容を正しく読み取ることができると考える。

(3) 評価規準

本時の評価規準	支援の手立て
事柄の順序を捉えつつ、写真と文を照応させながら読んでいる。	5枚の写真の順序を考え、説明カードと組み合わせる具体的な作業を通して、順序を表す言葉の使い方、写真と文を合わせることよさに着目させる。

7 本時の展開

段階	学習活動	○指導上の留意点 ☆評価の観点
導入 5分	1 学習課題をつかみ、学習範囲を音読する。 かだい 「しかけカードの作り方」のじゅんじょをたしかめよう。	○前時の学習を振り返り、次単元で自分たちが書くための学習を確認する。
展開 30分	2 見通し 5枚の写真を提示したのち、本時の活動の流れを説明し、見通しをもつ。 3 写真と作業の内容を照応する。(予想①) 4 写真と作業内容を書いた文章カードを、グループで話し合いながら、照らし合わせる。(予想②) 5 グループごとに話し合ったことを発表し、意見を交流し合う。 6 出された意見を基に考えをまとめ、作り方の順序と写真を確かめながら対応させる。 7 学習のまとめをする。 まとめ 作り方のじゅんじょは、じゅんじょをあらわすことばや、文としゃしんに目をつけて読むと分かりやすい。	○教科書は開かせず、写真から作業の様子を言葉で表現させる。 ○5枚の写真を見て、どんな作業をしているところか予想させる。 ○2人組に分かれて、順序を表す言葉や、大事な言葉や文に着目させながら、考えをまとめさせる。 ○自分たちが考えた順序を、根拠を明らかにしながら発表する。 ○順序を読みとるときに着目した言葉を発表させ、紙板書にサイドラインを引く。 ○相違点に着目し、気づいたことや質問等を発表させる。 ☆【読】順序を表す言葉に着目して、「しかけカードの作り方」を正しく読み取ることができたか。(観察・ワークシート) ○「作り方」を正しく読み取るためには、順序を表す言葉や、文章の前後をつなげる言葉などが大切であることを確かめる。
終末 10分	8 振り返り 学習を振り返る。	○作り方の順序を読み取る時に、どんなところに目をつけたか振り返らせる。 ○次時は、本時で学習した「しかけカードの作り方」を読みながら、実際にカード作りに取り組むことを伝える。

しかけカードの作り方

かだい

「しかけカードの作り方」のじゅんじよを
たしかめよう。

見通し

作るじゅんばんをしらべよう。

写真

(段落の紙板書)

まとめ

作り方のじゅんじよは、じゅんじよをあらわ
すことばや、文としゃしんに目をつけると分か
りやすい。

ふりかえり

考えたことや気づいたこと